

パリティ Parité

2022.2
Vol.28

— 特集 —

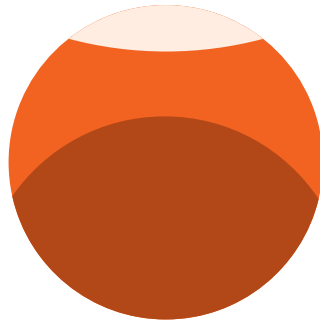
アンコンシャス・バイアスに気づいて 誰もが暮らしやすい世の中に



おしとやかにし
女の子だからピンク選んでおし
女子力高いね！男っぽ
これだからあの世代は
あの人はA型だから、きっと几帳面なはず
彼女はいるの？彼氏はい
お母さんだから子
男でしょ！メソメソしないの
女の子はスカート、

専業主婦はヒマでし
男なのに髪長いなんてお
男なら家族を守って養うべきだよね
結婚しないの？いつ
あそこの出身は気が強い
長男だからお世話し
男なら、機械やパソコンに強
さすが、内助の功です

色眼鏡、
かけていませんか？



P6 NEWS!

日々の暮らしの中から実現できる！
SDGs第5の目標「ジェンダー平等」
ステキに男女平等参画！in 西東京
「綺麗になりたい人を応援したい」

P7 パリティ・ライブラリー / パリティだより

P8 悩みなんでも相談

男女平等参画社会は、男女が共に様々な分野で活躍できる社会です。
仕事も生活も楽しめる、そんなライフスタイルについて考えてみませんか。

アンコンシャス・バイアスに気づいて 誰もが暮らしやすい世の中に

unconscious bias

子育て

保育園で子どもが
発熱したとき、
**お迎えの
第一候補がママ**
であること。



お母さまが
お迎えにいらっ
しゃいますよね

- ★子育ては母親がするものだと思われている。
- ★男女分け隔てなく育てたいと思っているのに、子どもに「男の子なんだから強くなろう!」という意味合いの言葉を使ってしまっていた。
- ★出産後にパートとして再出発した時、年上のパートで働く女性たちから、「子どもが可哀想」と言われた。
- ★娘や孫に、女の子なんだからピンク色の洋服を着るようとか、お行儀についても細かく言っていた。

仕事

接客は
女の子のほう
がいいからね



飲食店でバイト時代
どれだけ調理場の
希望を出しても
ホールに回された。
理由を聞くと
**「女の子を
表に出したい」**
とのこと…。

- ★女性は子どもが生まれたり仕事をやめると思っている。
- ★「女性は気が利く」「女性は気配りができる」「女性の方が器用で家事が得意」など、一見、褒めているように聞こえるけど…。
- ★女性の賃金が男性の賃金より低くても「仕方がないこと」として感じてしまう。
- ★男性は、パソコンや機械関係に強くて当たり前と思われている。

アンコンシャス・バイアス

パリティの
企画運営委員さんに
聞いてみました!

あるある!

あなたもこんな経験
ありませんか?

etc.

彼氏いるの?
結婚はまだ?



「彼女(彼氏)はいるの?」「ご結婚はまだ?」

といった何気ない質問は、異性愛を前提とした質問になっていたりと、[付き合っている人がいる=結婚]というイメージが前提となっていて、正直疲れる。

- ★夫が活躍できたのは「内助の功」と褒められたが、非常に屈辱的だった。これは夫が自分で頑張ったことであって、私には関係ない。
- ★飲み会の席で大皿から取り分けたり、自然に周りのオーダーを取りまとめたりしていると「女子力が高いですね!」と悪気なく言われることがある。「いやいや、人間力が高いのですよ～」と流すように返している。
- ★大相撲の土俵や入山の「女人禁制」など、総じて「伝統を守る」の名の下にジェンダー・バイアスが正当化されている。

家族

長男なん
だから
面倒みてね



長男だから
親の面倒をみるのが
当たり前だと
思われている。

- ★男はきちんと家族を守るべき! 男は子どもと妻を経済的、心理的に守るものと思われていることに疲れを感じる。
- ★家事は大した仕事でなく、家にいる妻・母親は毎日出歩いて遊んでいると思われているようだ。
- ★『家制度』はなくなったはずなのに、「うちの嫁が」という言葉を聞くと、「嫁」は「夫の家に入る」意味を連想させる。その昔、姑に連れられて夫の実家の周りをあいさつ回りする際「うちの嫁です」と言われた。今でも「〇〇家に嫁ぐ」や「お嬢さんを嫁に下さい」など、テレビドラマなどで使われるがモヤモヤ感がある。
- ★留守番時の食事は、兄もいるのに、いつも女の子だからといって私に任されていたのが不満。

アンコンシャス・
バイアスって
なんのこと?



「アンコンシャス・バイアス」という言葉を耳にすることが増えてきました。誰の中にもある無意識の偏見や思い込みに気づき、相手を傷つけたりネガティブな影響を及ぼしてしまわないように、自分自身と向き合うことの大切さを考えてみます。

アンコンシャス・バイアスとは

例えば、血液型で相手の性格を決めつけたり、権威のある人の言うことは絶対正しいと思ったり。私たちが、必ずしも正しいとはいえない認識をまるで常識であるかのようにとらえ、発言したり振る舞ったりしてしまう傾向があります。無意識のうち「これが当然」「普通はこうだ」といった思い込みを持ち、その考えを相手にも押しつけたり、「だからこうに違いない」と決めつけたりする原因になっているのが、**無意識の偏見**、いわゆるアンコンシャス・バイアスといわれるものです。

たしがちなので、注意が必要なのです。とくに、性別役割分担意識が強いといわれる日本では、ジェンダー(役割の違い等で生まれる社会的な性別)にもとづくアンコンシャス・バイアスが数多く存在しています。「男は仕事で女は家事・育児」「男のくせに泣くんじゃなく」「お茶出しは女性社員の役目」など、これらの考え方はすべてアンコンシャス・バイアスです。なぜなら、家事・育児をするのは夫でも構わないし、男性だから泣いてはいけないという根拠もありません。会社でも家庭でも、お茶は必要だと感じた人が男女関係なく淹れればいいのではないのでしょうか。

日本労働組合総連合会が2020年に行った調査によると、「親が単身赴任中」と聞いて父親の方を想像した人は66.3%にもなりました(5万871人中)。こうした思い込みに気づかないでいると、「母親なのに単身赴任?子どもが可哀想。旦那さんも大変ね」といった発言を不用意にしてしまい、その母親や家族に不快な思いをさせてしまう可能性もあります。もちろんこれは、一外で働くのは男性、育児をするのは女性という思い込みからくるアンコンシャス・バイアスです。

アンコンシャス・バイアスの悪影響と解消法

アンコンシャス・バイアスをそのままにしていると、性別、年齢、人種、国籍といった属性によって不利益を被る人も出てきてしまいます。それは、人種のあるつぼといわれるアメリカやヨーロッパの国々に限らず、日本でも同様なのです。

昨今問題視されているのは、偏見や思い込みにもとづく言動によって相手が不快になったり傷ついたりするだけでなく、そのネガティブな影響が、人のやる気をしばませたり、自信を奪ってしまったり、成長の芽を摘んでしまったりすること。

会社などの組織でアンコンシャス・バイアスがまかり通れば、従業員のモチベーションが下がってパフォーマンスが発揮できず、職場全体の生産性が落ちてしまったり、イノベーションが起これにくくなってしまったりするでしょう。そうすると、会社の成長は見込めません。さらに偏ったも

ののを見方をする人が上層部に多ければ、差別的な発言やハラスメントがまかり通り、人間関係も悪化してしまつてしまう。

想像するだけで怖くなるようなアンコンシャス・バイアスのマイナス面は、もちろん組織だけではなく個人の間でも発生します。

最近、「妻なら家事は完璧にやっただけで当然」「子ども世話はやっぱママじゃないとね」といったステレオタイプな価値観が、夫からも周囲からも押しつけられ、追い詰められている母親が増えているといった報道をよく目にします。

一方で、「男なら家族を守って養わなければ」「男なら途中で投げ出すな」など、従来からの「男らしさ」に束縛されて苦しんでいる男性も増えているといえます。

内閣府が策定した「第5次男女共同参画基本計画」でも、今後の働き方や暮らし方を変革するためにも解消が必要とされる事柄として挙げられていたアンコンシャス・バイアス。無意識の思い込みや偏見に気づくことは、多様性を認め合う世の中を実現するためにも大切です。そして周囲のため、相手のためだけではなく、実は自分自身の生きやすさにもつながっていくのです。

アンコンシャス・バイアスを解消する、今すぐできる3つのこと！

あなたも実践してみよう！

①大きな主語はなるべく使わない

「私たち日本人は…」[「だから女性は…」]「あの年代の人たちは…」など、意見を主張したい、聞いて欲しいという気持ちが強いときほど、人は「大きな主語」を使いがちです。

しかし、大きな主語は多様な属性を持つ人々をひとまとめに扱ってしまう言葉でもあります。アンコンシャス・バイアス発言につながりやすいので、注意が必要です。

②断定的な言葉が浮かんできたときは、ひと呼吸おいて

アンコンシャス・バイアスは、決めつけや断定的な言葉となって表れることが多いです。

「普通は…」[「常識的に…」]「…するべき」[「…に決まっている」といった発言をしそうになったら、それらを口にする前に、「それは本当に当たり前のこと?」「なんでそうすべきだと私は思うの?」と、自分に問いかけてみてください。

③相手の反応からサインを受け取る

話をしている相手の表情が急に曇ったり、会話に妙な間が生まれたり、最近であればオンライン会議中にビデオが突然オフになったり。もしかすると、アンコンシャス・バイアスを含んだ発言で、相手が傷ついているかもしれません。違和感を抱いたらそのままにせず、フォローしてみましょう。



「常識的に」とか「〇〇するべき」ってよく職場で言ってるなあ…。



私も子どもに「普通は」って、よく言っちゃってます…。

無意識バイアスに、遠慮なくダメ出しを



治部 れんげさん

プロフィール
ジャーナリスト、東京工業大学リベラルアーツ研究教育院准教授。中学生と小学生の母親。内閣府、東京都、豊島区などで男女平等に関する審議会委員などを務める。

都内公立中学校での出来事です。保護者会で校長先生が「お母さま」と何度も呼びかけていたことに違和感を覚え、数十名の保護者は女性だけではなく男性もいましたし、両親ではなく祖父母と思しき人もいたからです。実際、クラスには母親が不在で祖父母が子育てしている家庭も複数あります。

「お母さま」と話しかけた校長先生に悪意はなかったでしょう。けれど、「家で子育てするのは母親」というジェンダーに基づく無意識の思い込みは、

ジェンダーや血縁関係を限定しない言葉が使われることが多いです。先生の間にある知識ギャップを埋めるため、教育現場で無意識バイアスに関する研修をしてほしいです。

性別に基づく役割分担は、保護者の心に深く根づいています。小さな子どもを持つ首都圏の母親たちと座談会をした時のことです。

ある人が言いました。「今は好きな習い事をさせているけれど、男の子だと、やっぱり塾とか行かせなきゃダメかな、と思ってしまつ」。別の人が言いました。「女の子だと、好きなバレエやピアノを思いきりやらせてあげようと思いますが、男の子はやっぱり勉強が気になる」。

こうした親たちも「男のくせに」とか「女のくせに」と、性別に基づく決めつけをあらかじめ口にしません。「ジェンダー」や「平等」に配慮した子育てに関する意識が重要です。それでも伝統的な価値観から離れるのが難しいところに「無

多様な家族形態の中で生きる子どもたちへの配慮に欠けていて残念に思いました。

似たようなことは、小学校でも起きています。「帰ったらお母さんに〇〇してもらってね」と繰り返す先生の言葉を聞き、小さい頃、母親を亡くしているお友達表情が曇っていた、と子どもから聞いた時は心が痛みました。

幼稚園・保育園や学校現場では、近年、多様な家族形態を踏まえた呼びかけが広がっています。多くの園や小学校低学年では「お父さん」「お母さん」ではなく「おうちの方」と

意識バイアスの根深い問題があるのです。

大切なのは、無意識バイアスは誰にでもあると知ること、そして自分自身のバイアスに気づくことです。例えばみなさんが「息子に言っていることを、娘にも言うだろうか」と考えてみてください。逆も同様です。

また、男女平等意識が強く、自分は差別などしない、と思っている人ほど「無意識バイアス」に気づかないことがあります。もし家族や友人から指摘を受けたら、立ち止まって考えて下さい。また、周囲の人が悪気なくバイアスがあった発言をしていたら「それは違うんじゃない」と勇気を出して教えてあげてほしいですね。



「きめつけないで! 『女らしさ』『男らしさ』～みんなを自由にするジェンダー平等～」1～3巻 発行：汐文社



このコーナーでは、男女平等参画をはじめとするさまざまなテーマの本を紹介し、男女平等推進センター「パリテ」の図書コーナーで貸し出していますので、ぜひご利用ください。



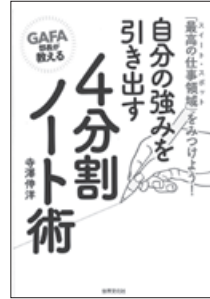
3万人の大学生が学んだ
恋愛で一番大切な「性」のはなし
著者：村瀬幸浩
出版社：KADOKAWA

著者が「人間と性」について語ってきた講義の要約と学生のレポートが紹介されています。内容は「デートDV・互いの性を理解する・結婚するってどういうこと？」等。性と人間関係の理解を深め、幸せな人生を歩むためのヒントを与えてくれる書。



女の子だから、男の子だからをなくす本文
文：ユン・ウンジュ
絵：イ・ヘジョン 訳：すんみ
出版社：エトセラブックス

この本は女の子だからってゆずってあげなくていいんだよ、男の子だって好きに泣いていいんだよと沢山の事例を交え自分を大切にする方法を教えてください。イラストも多く子どもと一緒に読める、ジェンダーにとられない考え方が詰まった一冊。

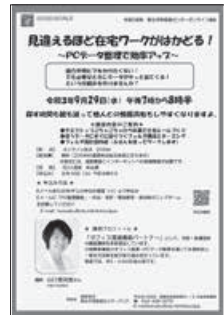


GAFA部長が教える
自分の強みを引き出す4分割ノート術
著者：寺澤伸洋
出版社：世界文化社

自らの現在の立ち位置を振り返り、自分ができること、強み弱みを理解し、ありたい姿に近づくためにはどうすればいいのかが、ワークを通して深掘りできます。最高の仕事領域が見つかる！年齢に関わらず一読の価値あり。

パリテだより

センターパリテでは、さまざまなイベントを開催しています。
2021年12月までの主な事業をご報告いたします。



2021年9月29日(水)

見違えるほど
在宅ワークがはかどる！
～PCデータ整理で効率アップ～
講師：山口香央里さん
PCデータを整理することの大切さとデータ整理の仕組みを学んだ講座でした。PCデータが整理されている→時間・心のゆとり→生産性・人間関係向上→信頼獲得と、好循環になります。



2021年10月14日(木)から連続6回

完璧な親なんていない
「ノーバディズ・パーフェクト
～一緒に子育てを楽しもう！」
講師：吉田朋子さん(NPO法人
ワーカーズ・コレクティブちろりん村)
カナダの子育て支援プログラムです。参加者主体の講座で話し合いのテーマも参加者が決めます。「自分の悩みを話せるし、同じ子育て中の親の課題が共有できてよかった」と感想がありました。



2021年10月27日(水)

ベビーマッサージ
& ママの簡単ストレッチ
講師：飯岡祐子・篠宮晃子さん
マッサージ後にすやすや眠る赤ちゃんたちの様子を見て、母親の笑顔と楽しそうな声は何よりも大切なのだと感じました。助産師さんへの質問タイムや座談会もあり、来た時よりもリラックスしたママたちの笑顔が印象的でした。

日々の暮らしの中から実現できる! SDGs第5の目標「ジェンダー平等」

「SDGs」とは、すべての人類が貧困や不平等、暴力から解放され、地球環境と調和しながら幸せに暮らし続けるために設定された、全部で17の目標のことです。そのうちの5番目に挙げられているのが「ジェンダー平等を実現しよう」という目標。ジェンダーとは、社会的・文化的な背景や役割によってつくられた性別のことですが、世界規模の視点で見ると、「女性だから」というだけの理由で教育が受けられない、望まない結婚を強制される、政治に参加できないという差別を受けている女性がまだ数多く存在しています。

ただこれは、途上国ばかりの問題ではありません。先進国であるはずの日本でも、長年根付いた性別役割分担意識によって女性ばかりに家事・育児・介護の負担が偏り、いざというときにキャリアをあきらめるのは女性の方だったり、同じ仕事をしていてもなぜか女性の賃金は低かったりといった男女格差がまだに存在しています。また内閣府によると、パートナーからの暴力(DV)を経験している成人女性も3人に1人という高い割合で存在しているのです。

女性活躍は推進されてきたものの、ジェンダー不平等の解消に向けた取り組みはまだ十分と言えない日本社会。今号の特集でも紹介した「アンコンシャス・バイアス」を意識して、家事・育児・介護などを家族全員で平等に分担する方法を考え、一人ひとりが日常生活の中からジェンダー平等を実現できるようになるといいですね。

ステキに in 西東京 男女平等参画!

綺麗になりたい人を応援したい

「セクシュアルマイノリティ」編

株式会社 Charis 共同代表

青木未央 さん (西東京市在住)



美容系の会社を経営するため、大学卒業後に大学院と併行して美容の専門学校に通い、経営学修士号と美容師の資格を取りました。その後、数年間フリーのメイクアップアーティストとして働く傍らLGBTとしての活動もしていましたが、2020年1月に市内に化粧品販売や美容関連の会社を立ち上げ、今は社長業に専念しています。

2021年夏、縁あって第1回「MissMiraiコンテスト」に応募したところ、〈初代ミス未来特別賞〉を受賞しました。この大会は、単に美を競うのではなく、今までにない発想をもって未来を切り拓いていく女性に焦点を当てたもので、受賞できたことをとても光栄に思っています。

わたしは、大学3年の時にトランスジェンダー (TG) であることをカムアウトしました。当時交際していた女性は今の妻ですが、わたしの起業の背景には、彼女のためにも、「将来必ずトップになって、この世界を変えてい

く!」との誓いがあります。

今もTGとして生きること、様々な場面で差別を受けたり、生きづらさを感じることはありますが、起業を思い立った5、6年前は、LGBTが今ほど認知されておらず、TGの人は就職できないと言われていました。

そこでわたしは、「性別に関係なく、能力のある人がそれを発揮して働ける会社を自分で創ろう」と決意したので。そうして実績を示せば、他の会社もTGの人を雇うきっかけになるのではないのでしょうか。

会社はスタートしたばかりですが、今後は男も女も関係なく、〈綺麗になりたい人を応援する会社〉にしていきたいし、ジェンダー差別など一切ない社会を構築していければと思います。

女性 相談

悩みなんでも相談(予約制)

予約受付電話:042-439-0075

日々の暮らしの中での自分自身のこと、家族のこと、職場や学校での人間関係、パートナーの暴力などで不安を感じて「どうしていいかわからない」というときは、ひとりで悩まず、まずはお電話ください。

面接による相談ですが、来所が難しい方は予約受付時にご相談ください。



女性相談HPへ

秘密厳守・無料

予約受付時間

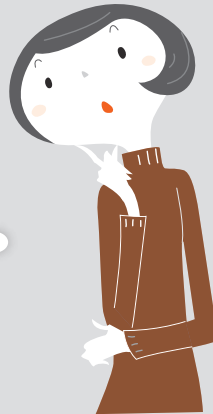
月曜日から金曜日…午前9時から午後5時
(木曜日のみ午後8時まで)
※祝日並びに年末年始を除く

場所

- 住吉会館内 男女平等推進センター パリテ
- 田無庁舎2階 相談室

こんなささいなことでも
相談しちゃって
いいのかな。

友だちや家族にも話せないし…
安心して話せる場所が
あるといいな。



これってもしかしたら暴力?
モラハラ?

すぐに離婚したいわけじゃないけど、
多少の知識は得ておきたい。

登録団体 募集中

(男女平等推進係)

男女平等参画社会の実現をめざして活動するグループを支援します。
団体登録をしていただくと、次のとおり施設をご利用いただけます。

活動室

- グループ活動の場や、活動の際の保育室としてご利用いただけます。(無料)
- 登録団体は3カ月前(その他の方は2カ月前)から予約申し込みができます。
- 利用時間 午前9時~午後10時

団体 連絡箱

グループで作成したチラシなどを配布できるロッカーです。申請をしていただくと、ご利用いただけます。

パリテ 2022.9
No.28

愛称「パリテ」とは…フランス語で“平等な”という意味です。

- ◆企画・編集◆ 男女平等推進センター企画運営委員会
- ◆発行◆ 西東京市生活文化スポーツ部 協働コミュニティ課
〒202-0005 西東京市住吉町6-15-6 住吉会館内
☎ 042-439-0075
- ◆企画運営委員会委員◆ 青木とし代、浅見美沙、稲葉友香、白井香澄、
寺澤真奈美、秦かおる、星竜也、吉田朋子
- ◆制作◆ 株式会社ドゥ・アーバン

- ▶情報誌「パリテ」は西東京市のホームページからご覧いただけます。
URL : <http://www.city.nishitokyo.lg.jp>
- ▶ご意見、ご感想をお寄せください。
E-mail : kyoudou@city.nishitokyo.lg.jp

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

Access



● 編集後記 ●

企画運営委員の経験談では「あるある!」というアンコンシャス・バイアスの事例が溢れるほど出ました。日常の中でも本当に様々な場面で悪気のない無意識な思い込みや偏見によって、自分や周囲の人を傷つけてしまっていることがあるかもしれないという視点の大切さ。偏見を含む発言に対し毅然と「それは違うんじゃない」となかなか言えないのですが…せめて「あれはあの人の偏見だから。気にすることはないよ」と声をかけられるようにありたいと思います。(星)